

2020年1月10日

各位

会社名 株式会社トランザクション  
代表者名 代表取締役社長 石川 諭  
(銘柄コード7818 : 東証第一部)  
問合せ先 取締役 北山 善也  
電 話 03-6861-5577

## 新株式発行に関する資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、2016年11月7日付「新株式発行及び株式売出し並びに親会社以外の支配株主の異動に関するお知らせ」、2016年11月15日付「発行価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ」及び2016年12月16日付「第三者割当増資における発行株式数の確定に関するお知らせ」において開示いたしました新株式発行（以下、「本件資金調達」という。）による調達資金の使途について、下記のとおり変更し充當いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社は、欧米を中心に健康面や経済的理由などにより利用者が急増している「VAP E（電子タバコ）」に注目し、日本においても今後市場が拡大するとの考えのもと、2014年9月に個人輸入ECサイトを立ち上げ、2015年6月には直営店舗である「vape studio」の第1号店を出店いたしました。店舗販売が好調に推移したことから多店舗展開による事業化を決定し、出店を加速させるため、出店に係る設備資金及び在庫の保有・販売促進費用等の支払いに係る運転資金に充当することを主な目的として、本件資金調達を実施いたしました。しかしながら、国内市場においては、大手たばこメーカーが販売を開始した加熱式タバコが台頭するとともに、VAP Eの低単価製品の性能向上により販売の中心価格帯が下がり、2019年8月期後半頃より店舗の客単価が低下傾向にありました。この状況を踏まえ、店舗戦略を見直し、WEB販売と卸売販売に注力することといたしました。

一方、グループの売上が順調に伸長し続けるなかで、印刷・加工・検品の最終工程を行う当社子会社である株式会社クラフトワークが運営する工場の受注量も増加し続け、従来の生産能力ではグループの需要増加に対応しきれずに受注の一部を外部へ委託せざるを得ない状況となっております。また、顧客の様々な印刷ニーズへの対応、ECサイト上の受注から印刷工程への自動連携による連動性の向上、短納期化、最新の印刷設備等の導入による高品質化及び効率化など、工場の生産能力の拡大や設備の高度化が課題となっていました。株式会社クラフトワークは、当社グループの「ビジネスモデル」を支える大きな役割を担っていることから、2018年11月29日付「固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ」のとおり、新工場の計画につきましては、既存設備の拡充による生産能力の増強に加え、工程を機械化・自動化するための最新設備の積極的な導入などにより、従来に比べ生産能力が飛躍的に向上するだけでなく、高性能印刷機によりデジタルデータを直接読み込んでフルカラーで印刷するオンデマンド印刷等、多様な印刷への対応を可能とする内容といたしました。新工場稼働により、従来以上に低価格・短納期・高品質で競争力の高い製品を大量に供給できる体制を構築し、グループシナジーの最大化を実現するため、当初予定した工場規模をさらに拡大したことにより設備投資予定額が増加いたしました。

そのため、当初、「vape studio」の多店舗展開資金として見積もっていた資金使途の一部を株式会社クラフトワークの工場の新設移転及び生産設備増強に係る設備資金の増額に変更しております。

## 2. 変更の内容

本件資金調達において、2016年12月16日付「第三者割当増資における発行株式数の確定に関するお知らせ」に記載いたしました資金使途からの変更内容は以下のとおりであります。

### 【変更前】

上記の第三者割当増資に係る手取概算額 452,248,760 円については、当該第三者割当増資と同日付をもって決議された一般募集の手取概算額 1,913,864,000 円と合わせ、手取概算額合計 2,366,112,760 円について、1,527,882,000 円を平成 31 年 10 月までに当社子会社株式会社トレードワークスが運営し、今後需要拡大が見込まれる V A P E（電子タバコ）事業の基盤強化を目的とした小売店舗出店に係る設備資金（758,900,000 円）及び在庫の保有・販売促進費用等の支払いに係る運転資金（768,982,000 円）に、370,000,000 円を平成 31 年 8 月までに株式会社トレードワークスのオリジナル雑貨新製品開発に必要な金型製作に係る設備資金（70,000,000 円）及び在庫保有に係る運転資金（300,000,000 円）に、156,000,000 円を平成 31 年 6 月までに当社の I T システム開発・整備及び本社フロアの拡張に係る設備資金に充当し、残額が生じた場合には、平成 31 年 8 月までに、当社子会社株式会社クラフトワークの工場の新設移転及び生産設備増強に係る設備資金（最大 524,000,000 円）、V A P E 事業に係る設備資金支出に伴う当社の短期借入金を含む金融機関への借入金の返済資金の順に各使途に充当する予定であります。

### 【変更後】

本件資金調達による手取概算額合計 2,366,112,760 円については、951,610,044 円を 2019 年 9 月までに当社子会社株式会社トレードワークスが運営する次世代タバコ事業の小売店舗出店に係る設備資金（411,749,906 円）及び在庫の保有・販売促進費用等の支払いに係る運転資金（539,860,138 円）に、347,960,000 円を 2019 年 7 月までに株式会社トレードワークスのオリジナル雑貨新製品開発に必要な金型製作に係る設備資金（47,960,000 円）及び在庫保有に係る運転資金（300,000,000 円）に、92,608,471 円を 2019 年 9 月までに当社の I T システム開発・整備及び本社フロアの拡張に係る設備資金に充当し、残額については、2019 年 9 月までに、当社子会社株式会社クラフトワークの工場の新設移転及び生産設備増強に係る設備資金（973,934,245 円）に充当いたしました。

資金使途	金額（千円）	
	変更前	変更後（充当済み）
次世代タバコ事業の小売店舗出店に係る設備資金及び在庫の保有・販売促進費用等の支払いに係る運転資金	1,527,882	951,610
オリジナル雑貨新製品開発に必要な金型製作に係る設備資金及び在庫保有に係る運転資金	370,000	347,960
I T システム開発・整備及び本社フロアの拡張に係る設備資金	156,000	92,608
工場の新設移転及び生産設備増強に係る設備資金	312,230 (最大 524,000 千円)	973,934
合計金額	2,366,112	2,366,112

## 3. 今後の見通しと影響

本件資金調達による調達資金使途の変更に伴う影響等につきましては、2019 年 10 月 10 日付で公表した「2019 年 8 月期 決算短信（日本基準）」において開示した 2020 年 8 月期業績予想及び「第 3 次中期経営計画（2020 年 8 月期～2022 年 8 月期）」の策定に関するお知らせ」に反映させております。

以上